

科目名	モダンダンス I			担当者		
英文名	Modern Dance I					
単位数	1	科目区分・必修 ／選択の区別	スポーツ科学科	ダンス学科	健康スポーツ学科	子ども運動学科
履修年次	1				専門基礎・必修	
授業形態	実習	科目ナンバー	DBR107		卒業認定方針との関連	⑥
【到達目標】 本授業では、身体の正しい使い方を理解し、基本的な技術を習得する。また様々な質を持つコンビネーションを体験し、実力を高めていく。						
【ルーブリック（学修の到達レベル）】						
学修内容		理想的な到達レベル		標準的な到達レベル		未到達レベル
ダンスの基礎的な身体技能の修得について		基礎的な技能が十分修得できている。		基礎的な技能がおよそ修得できている。		基礎的な技能が不十分で実施できない。
ダンス表現の実現について		動きがダンス表現として成立している。		ダンス表現としてはやや不十分な点がある。		ダンスの表現として成立していない。
ダンスに関する知識と理論について		知識や理論を自ら説明できる。		知識や理論を資料を見ながら説明できる。		知識や理論が理解できていない。
【授業内容・週ごとの到達目標・授業時間外学習】（前期15回分）						
第1回 オリエンテーション 【到達目標】 授業の取り組み方、その他注意事項も含めてモダンダンス基礎の講座について理解する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第9回 習作：グループワーク1 【到達目標】 グループに分かれ、動きを考案し、クラスの仲間に教え合う事によって、動きの本質を確認する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。		
第2回 基礎技術の確認 【到達目標】 床に正しく立つこと、歩くことの基礎技術を確認し習得する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第10回 習作：グループワーク2 【到達目標】 グループに分かれ、動きを考案し、クラスの仲間に教え合う事によって、動きの本質を確認する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。		
第3回 コンビネーション1 【到達目標】 脚上げの基礎技術を確認し習得する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第11回 習作：グループワーク3 【到達目標】 グループに分かれ、動きを考案し、クラスの仲間に教え合う事によって、動きの本質を確認する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。		
第4回 コンビネーション2 【到達目標】 ターン系の基礎技術を確認し習得する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第12回 発表、再検討 【到達目標】 改善する箇所を相談し、修正する事によってより深く動きの本質を理解する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。		
第5回 コンビネーション3 【到達目標】 ジャンプ系の基礎技術を確認し習得する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第13回 グループワーク、踊り込み練習 【到達目標】 複数回練習する事によって、考案したフレーズをなめらかに踊れるようになる。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。		
第6回 コンビネーション4 【到達目標】 その他の動きの基礎技術を習得する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第14回 発表、評価 【到達目標】 発表、評価を通して、動きの習熟度を確認する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。		
第7回 コンビネーション1、2の発展、応用 【到達目標】 複合された動きをマスターする。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第15回 ビデオ鑑賞、前期の感想、反省等 【到達目標】 ビデオ鑑賞、前期の感想、反省等を通して動きの習熟度を確認する。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。		
第8回 コンビネーション3、4の発展、応用 【到達目標】 複合された動きをマスターする。 【授業時間外学習】モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。						

次ページに続く

科目名	モダンダンス I			担当者	中村 恩恵		
英文名	Modern Dance I						
単位数	1	科目区分・必修 ／選択の区別	スポーツ科学科	ダンス学科	健康スポーツ学科	子ども運動学科	
履修年次	1		専門基礎・必修				
授業形態	実習	科目ナンバー	DBR107		卒業認定方針との関連	⑥	
【授業内容・週ごとの到達目標・授業時間外学習】 ※後期 15 回分							
第16回 授業進行についてのオリエンテーション (DVDを使用) 【 到達目標 】 授業の取り組み方、その他注意事項も含めて本授業について理解する。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第24回 重心の移動を意識したコンビネーションの練習 1 【 到達目標 】 重心の移動を理解し、効率よく移動できるようになる。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。			
第17回 身体のセンターに対する意識を高める (エクササイズ) 1 【 到達目標 】 身体のセンターについて理解し意識を高める。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第25回 重心の移動を意識したコンビネーションの練習 2 【 到達目標 】 重心の移動を理解し、効率よく移動できるようになる。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。			
第18回 身体のセンターに対する意識を高める (エクササイズ) 2 【 到達目標 】 身体のセンターについて理解し意識を高める。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第26回 重心の移動を意識したコンビネーションの練習 3 【 到達目標 】 重心の移動を理解し、効率よく移動できるようになる。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。			
第19回 身体のセンターに対する意識を高める (エクササイズ) 3 【 到達目標 】 身体のセンターについて理解し意識を高める。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第27回 重心の移動を意識したコンビネーションの練習 4 【 到達目標 】 重心の移動を理解し、効率よく移動できるようになる。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。			
第20回 骨盤に対する意識を高める (エクササイズ) 1 【 到達目標 】 身体を動かす際の骨盤の重要性について理解し、意識を高める。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第28回 グループワーク 1 【 到達目標 】 グループワークを通して、より深く動きの本質を理解し実際の動きに結びつける事が出来るようになる。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。			
第21回 骨盤に対する意識を高める (エクササイズ) 2 【 到達目標 】 身体を動かす際の骨盤の重要性について理解し、意識を高める。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第29回 グループワーク 2 【 到達目標 】 グループワークを通して、より深く動きの本質を理解し実際の動きに結びつける事が出来るようになる。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。			
第22回 骨盤に対する意識を高める (エクササイズ) 3 【 到達目標 】 身体を動かす際の骨盤の重要性について理解し、意識を高める。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。				第30回 グループ作品の発表と評価 【 到達目標 】 グループ作品の発表と評価を通して動きの習熟度を確認する。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。			
第23回 骨盤に対する意識を高める (エクササイズ) 4 【 到達目標 】 身体を動かす際の骨盤の重要性について理解し、意識を高める。 【授業時間外学習】 モダンダンス作品のビデオ鑑賞や舞台鑑賞を通して、モダンダンスの動きに慣れ親しむ。							
【学習上の留意点】 ダンスする上で、最も重要な基礎を習得するため、毎時間毎時間集中して授業に取り組んで下さい。							
【教科書・参考書など】 特にありません。							
【成績評価方法】 レポート 20%、テスト 60%、授業への取り組み方・参加度 20%の割合で総合的に評価する。							

科目名	モダンダンスⅢ			担当者		
英文名	Modern Dance Ⅲ					
単位数	1	科目区分・必修 ／選択の区別	スポーツ科学科	ダンス学科	健康スポーツ学科	子ども運動学科
履修年次	2			専門・選択		
授業形態	実技	科目ナンバー	DME206		卒業認定方針との関連	⑥
【到達目標】 「モダンダンスⅢ」を更に進めたテクニックを学ぶ。専門家の作品を踊ることで高度なテクニックを習得し、作品全体に流れる精神を掌握することで、表現力を高めていく。						
【ルーブリック（学修の到達レベル）】						
学修内容		理想的な到達レベル		標準的な到達レベル		未到達レベル
作品のテーマの理解度について		テーマを理解して高度な表現が実施できる。		希薄になる箇所があり、一貫性には欠ける。		テーマが理解できず、浅い表現になる。
タイプの異なる作品表現の実施について		タイプの異なる作品表現に十分対応できる。		タイプの異なる作品表現はやや不安定である。		タイプの異なる作品表現には対応できない。
高度な身体テクニックの到達レベルについて		高度な身体テクニックが実施できる。		未完成ではあるが、ほぼ実施できる。		かなり未完成ではあるが実施できる。
【授業内容・週ごとの到達目標・授業時間外学習】						
第1回 作品の説明とビデオ鑑賞（教材A） 【到達目標】 創作文意図を理解し、作品のイメージをつかむ。 【授業時間外学習】 作品の世界を想像し、イメージを固める。(1.0hr)				第9回 振りを学ぶ⑦ 【到達目標】 踊り込みをして、作品の精神が貫通できるようにする。 【授業時間外学習】 全体を通してのイメージトレーニングを行う。(1.0hr)		
第2回 振りを学ぶ① 【到達目標】 振りを短時間で、正確に覚えられるように集中する。 【授業時間外学習】 振りの復習をする。(1.0hr)				第10回 踊って批評を受ける、互いに今後の課題を発見しあう② 【到達目標】 踊って批評を受ける。今後の課題を自主的に見いだしていく。 【授業時間外学習】 課題の確認と習得するための練習方法の考案。(1.0hr)		
第3回 振りを学ぶ② 【到達目標】 次第に細かい部分の工夫もしながら、全体を通して踊れるようにしていく。 【授業時間外学習】 振りの復習、細かい注意の思い出しなどをする。(1.0hr)				第11回 作品の説明とビデオ鑑賞（教材C）、振りを学ぶ⑧ 【到達目標】 創作文意図を理解し、作品のイメージをつかむ。 【授業時間外学習】 作品の世界を想像し、イメージを固める。(1.0hr)		
第4回 振りを学ぶ③ 【到達目標】 踊り込みをして、作品の精神が貫通できるようにする。 【授業時間外学習】 全体を通してのイメージトレーニングを行う。(1.0hr)				第12回 振りを学ぶ⑨ 【到達目標】 振りを短時間で、正確に覚えられるように集中する。 【授業時間外学習】 振りの復習をする。(1.0hr)		
第5回 踊って批評を受ける、互いに今後の課題を発見しあう③ 【到達目標】 踊って批評を受ける。今後の課題を自主的に見いだしていく。 【授業時間外学習】 課題の確認と習得するための練習方法の考案。(1.0hr)				第13回 振りを学ぶ⑩ 【到達目標】 次第に細かい部分の工夫もしながら、全体を通して踊れるようにしていく。 【授業時間外学習】 振りの復習、細かい注意の思い出しなどをする。(1.0hr)		
第6回 作品の説明とビデオ鑑賞（教材B）、振りを学ぶ④ 【到達目標】 創作文意図を理解し、作品のイメージをつかむ。 【授業時間外学習】 作品の世界を想像し、イメージを固める。(1.0hr)				第14回 フィーリングやアクセントなど踊り方の吟味 【到達目標】 作品を踊り込んでいく過程で、重要な事柄について学ぶ。 【授業時間外学習】 自分らしさを加えて、作品の完成度を高められるように考える。(1.0hr)		
第7回 振りを学ぶ⑤ 【到達目標】 振りを短時間で、正確に覚えられるように集中する。 【授業時間外学習】 振りの復習をする。(1.0hr)				第15回 踊って批評を受ける、今後の課題の見 【到達目標】 踊って批評を受ける。学んだ事柄をもとに新たに課題を発見する。 【授業時間外学習】 課題の確認と習得するための練習方法の考案。(1.0hr)		
第8回 振りを学ぶ⑥ 【到達目標】 次第に細かい部分の工夫もしながら、全体を通して踊れるようにしていく。 【授業時間外学習】 振りの復習、細かい注意の思い出しなどをする。(1.0hr)						
【学習上の留意点】 タイプの異なる3つの作品を教材として取り上げ、細やかに進めていく。振りを覚えることに加えて、各自が作品のイメージをとらえて、より深みのある個性的な世界を構築して欲しい。そのための練習方法やポイントなどについても探っていく。そして、踊ることだけにとどまらず、書物や絵画、詩集などで、作品のイメージを増幅し、どんなことにも興味を持って取り組んで欲しい。						
【教科書・参考書など】 特にありません。						
【成績評価方法】 平常授業での課題40%、到達時の確認課題60%。試験は別途行う。						

科目名	舞踊創作・振付法			担当者		
英文名	Theory of Dance Composition and Choreography					
単位数	2	科目区分・必修 ／選択の区別	スポーツ科学科	ダンス学科	健康スポーツ学科	子ども運動学科
履修年次	2				専門・必修	
授業形態	講義	科目ナンバー	DMR201		卒業認定方針との関連	⑥⑦
【到達目標】 舞踊作品という概念、作品成立のための諸条件等、基本的な理論を学ぶ。						
【ルーブリック（学修の到達レベル）】						
	学修内容	理想的な到達レベル	標準的な到達レベル	未到達レベル		
	作品創作・振付に関する知識や理論について	授業で学んだ知識や理論を自ら説明できる。	授業で学んだ内容がほぼ理解できている。	授業で学んだ知識や理論が理解できていない。		
	芸術作品の構成要素について	構成要素について自ら説明ができる。	構成要素についてほぼ理解できている。	構成要素について理解できていない。		
	基礎知識の応用力について	基礎知識を理解し応用することができる。	基礎知識に留まり、応用することが難しい。	基礎知識の理解ができていない。		
【授業内容・週ごとの到達目標・授業時間外学習】						
第1回 作品創作の動機について 【到達目標】 あらゆる例題を取り上げながら、作品創作の動機を探る。作品や作者のバックグラウンドについても、考察する。 【授業時間外学習】 作品創作の動機について考え、身近な作品を例に考察する。(4.0hr)				第9回 隊形の種類、移動、変化 【到達目標】 隊形の種類を把握し、作品の中での効果的な移動のしかた、変化の方法について学ぶ。 【授業時間外学習】 隊形の種類、移動、変化のしかたについて、身近な作品を例に考察する。(4.0hr)		
第2回 テーマ、抽象・具象について 【到達目標】 テーマの決定のしかた、抽象作品、具象作品などの特性を理解する。 【授業時間外学習】 他の芸術分野について、テーマ、抽象、具象について調べる。(4.0hr)				第10回 組み合わせ、比例、均等 【到達目標】 隊形の組み合わせについて考える。 【授業時間外学習】 隊形の組み合わせについて復習する。(4.0hr)		
第3回 題名について 【到達目標】 題名の考え方、決め方について理解を深める。 【授業時間外学習】 他の芸術分野について、題名の考え方や決め方について調べる。(4.0hr)				第11回 時間構成について 【到達目標】 作品の時間構成について学ぶ。全体から見た理想的な時間配分について考える。 【授業時間外学習】 作品の時間構成について、身近な作品を例に考察する。(4.0hr)		
第4回 作品の大まかなイメージ（動き、構成） 【到達目標】 動きと構成の関係について理解する。作品の動きにふさわしい構成とは、どんなものかを考える。 【授業時間外学習】 作品の動きにふさわしい構成について、身近な作品を例に考察する。(4.0hr)				第12回 教材VTR「作品の出来上がるまで」を見る 【到達目標】 例題となる教材VTRから、作品の出来るまでを理解する。 【授業時間外学習】 作品の完成するまでの流れをイメージしてみる。(4.0hr)		
第5回 作品の大まかなイメージ（衣裳、照明、音響） 【到達目標】 舞台上で上演する作品は、総合芸術であることを理解し、音響、衣裳、照明のあり方について学ぶ。 【授業時間外学習】 興味のある作品を取り上げ、衣裳、音響、照明について考察する。(4.0hr)				第13回 反復、伏線、クライマックスについて 【到達目標】 作品におけるクライマックスとは何か、また、その効果的なつくり方などについて考える。 【授業時間外学習】 他の芸術分野では、クライマックスをどのように捉えているかを考察する。(4.0hr)		
第6回 モチーフ、フレーズについて 【到達目標】 作品の主張の最小単位と言えるモチーフ、フレーズのとらえ方について理解する。 【授業時間外学習】 興味のある作品を取り上げ、モチーフ、フレーズについて考察する。(4.0hr)				第14回 コントラスト、リズム、調和について 【到達目標】 作品のコントラスト、リズム、調和について考える。 【授業時間外学習】 コントラスト、リズム、調和について、身近な作品を例に考察する。(4.0hr)		
第7回 教材VTR「作品のモチーフ」を見る 【到達目標】 教材VTRによる研究・分析を行う。 【授業時間外学習】 作品のモチーフを一つ考えてみる。(4.0hr)				第15回 今後の課題の設定 【到達目標】 最も興味深いテーマを取り上げ、更に研究を深める。 【授業時間外学習】 自分で課題を見つけ、解決のための方法を考案する。(4.0hr)		
第8回 動きの変化・発展 【到達目標】 動きの変化・発展のしかたについて学び、実演しながら理解する。 【授業時間外学習】 変化、発展のしかたについて復習する。(4.0hr)						
【学習上の留意点】 【対面授業の場合】 授業ノートを工夫して作成し、今後の舞踊活動のための資料保存版となるようにしたい。各自が自習や調査などを行い、オリジナルノートを作成することを目標とし、理解度の確認を行う。						
【教科書・参考書など】 適宜、プリント等配布。						
【成績評価方法】 【対面授業の場合】 ノート提出60%、授業内レポート40%。						

科目名	シアターダンステクニック			担当者		
英文名	Theater Dance Technique					
単位数	1	科目区分・必修 ／選択の区別	スポーツ科学科	ダンス学科	健康スポーツ学科	子ども運動学科
履修年次	1				専門・必修	
授業形態	実技	科目ナンバー	DMR103		卒業認定方針との関連	⑥
【到達目標】 劇場は、照明などで演技がくっきりと浮き出て見えるように設計されていて、日常の空間とは異なった様相を帯びている。従って、稽古場や体育館で踊る場合とは異なり、プロフェッショナルの常識のようなものが存在する。それを学ぶのが、この講座である。						
【ルーブリック（学修の到達レベル）】						
学修内容		理想的な到達レベル		標準的な到達レベル		未到達レベル
劇場に相応しいダンス表現の実施について		劇場に相応しい表現として実施できる。		やや不十分な箇所が見られるが実施できる。		劇場に相応しい表現としては未完成である。
劇場に適したダンス作品について		劇場の特徴を把握した上で実施ができる。		劇場の把握がやや不十分だが実施はできる。		劇場の特徴が理解できないが実施はできる。
劇場における芸術の知識・理論について		劇場の知識や理論について自ら説明できる。		劇場の知識や理論について不十分である。		劇場の知識や理論が理解できていない。
【授業内容・週ごとの到達目標・授業時間外学習】						
第1回 作品の説明とビデオ鑑賞（作品A） 【到達目標】 作品のおおまかなイメージをつかむ。 【授業時間外学習】 全体のイメージトレーニングを行う。(1.0hr)				第9回 踊って批評を受ける、互いに問題点を発見しあう② 【到達目標】 少人数ずつ踊り、アドバイスを受ける。仲間の踊りを鑑賞することで、新たな課題を発見する。 【授業時間外学習】 新たな課題を発見し、イメージを膨らませる。(1.0hr)		
第2回 振りを学ぶ① 【到達目標】 基本テクニックに留意しながら、明確に覚える。 【授業時間外学習】 振りの順番を確認する。(1.0hr)				第10回 作品の説明とビデオ鑑賞、振りを学ぶ（作品C） 【到達目標】 作品のおおまかなイメージをつかむ。基本テクニックに留意しながら、明確に覚える。 【授業時間外学習】 全体のイメージトレーニングを行う。(1.0hr)		
第3回 振りを学ぶ② 【到達目標】 細かい部分のチェックもしながら、振りを覚える。 【授業時間外学習】 特に注意された箇所を思い出しておく。(1.0hr)				第11回 振りを学ぶ⑥ 【到達目標】 細かい部分のチェックもしながら、振りを覚える。 【授業時間外学習】 振付の復習。(1.0hr)		
第4回 振りを学ぶ③ 【到達目標】 全体を通して踊ることで、気持ちの流れやエネルギーの配分についても、研究する。舞台の使い方を意識して、通し練習する。 【授業時間外学習】 全体のイメージトレーニングを行う。(1.0hr)				第12回 振りを学ぶ⑦ 【到達目標】 全体を通して踊ることで、気持ちの流れやエネルギーの配分についても、研究する。舞台の使い方を意識して通し練習する。 【授業時間外学習】 全体の流れを感じ、イメージを膨らませる。(1.0hr)		
第5回 踊って批評を受ける、互いに問題点を発見しあう① 【到達目標】 少人数ずつ踊り、アドバイスを受ける。仲間の踊りを鑑賞することで、新たな課題を発見する。 【授業時間外学習】 新たな課題を確認し、イメージを膨らませる。(1.0hr)				第13回 踊り込み、吟味 【到達目標】 何回も通して練習し、動きの集中力を強化していく。客席からの見え方と演者の意識の相違について考える。 【授業時間外学習】 音楽を聴きながら、舞台上の自分をイメージする。(1.0hr)		
第6回 作品の説明とビデオ鑑賞、振りを学ぶ（作品B） 【到達目標】 作品のおおまかなイメージをつかむ。基本テクニックに留意しながら、明確に覚える。 【授業時間外学習】 全体のイメージトレーニングを行う。(1.0hr)				第14回 踊って批評を受ける、感想を述べあう 【到達目標】 少人数ずつ踊り、アドバイスを受ける。仲間の踊りを鑑賞することで、新たな課題を発見する。 【授業時間外学習】 新しい課題を心にとどめる。(1.0hr)		
第7回 振りを学ぶ④ 【到達目標】 細かい部分のチェックもしながら、振りを覚える。 【授業時間外学習】 振付の復習。(1.0hr)				第15回 今後の課題を設定し、実現のための構想を練る 【到達目標】 今後の課題を発見し、実現するための構想を練る。 【授業時間外学習】 課題を意識した練習方法を考える。(1.0hr)		
第8回 振りを学ぶ⑤ 【到達目標】 全体を通して踊ることで、気持ちの流れやエネルギーの配分についても、研究する。 【授業時間外学習】 全体の流れを感じ、イメージを膨らませる。(1.0hr)						
【学習上の留意点】 【対面授業の場合】 基礎的なテクニックを獲得し、作品を魅力的に踊り通すことができるようにしたい。そのための精神的な強さ、集中力も鍛え、自分で工夫したり練習する習慣も身につけていく。これからの4年間の基盤となる授業なので、真剣に受講して欲しい。						
【教科書・参考書など】 特にありません。						
【成績評価方法】 【対面授業の場合】 平常授業での課題40%、到達時の確認課題60%。試験は別途実施する。						

科目名	ダンス・メソッド			担当者			
英文名	Dance Teaching Method						
単位数	2	科目区分・必修 ／選択の区別	スポーツ科学科	ダンス学科	健康スポーツ学科	子ども運動学科	
履修年次	3		専門・選択				
授業形態	演習	科目ナンバー	SME202		卒業認定方針との関連	⑤	
【到達目標】 学校教育におけるダンス授業の指導法に焦点をあて、学齢期生徒の心身の発達に合わせたダンス授業の指導内容と方法について、実践を通じて理解する。具体的には、学習指導要領に基づいたダンス授業の基本的な単元計画のあり方や指導法、評価法について学習する。							
【ルーブリック（学修の到達レベル）】							
学修内容		理想的な到達レベル		標準的な到達レベル		未到達レベル	
学校体育におけるダンスの内容についての理解		理論を理解し、自らまとめて説明できる。		学習指導要領や参考書に基づいて説明できる。		理解が不十分で説明できない。	
学校体育におけるダンスの指導計画		学習した知見を生かし、自分自身の特性を生かしたダンスの指導計画を作成できる。		学習指導要領や参考書に基づいて指導計画を立てられる。		計画を立てることができない。	
学校体育におけるダンス指導技能		確かな指導言語を用い、十分な示範ができ、生徒の動きを最大限に引き出す指導ができる。		適切な指導言語を用い、示範を行い、生徒の動きを引き出す指導ができる。		指導言語や、示範が不十分で、生徒の動きを引き出すことができない。	
【授業内容・週ごとの到達目標・授業時間外学習】							
第1回 オリエンテーション、フォークダンス①② 【 到達目標 】 授業の概要、ダンス教育の意義について理解する。 取り組みやすい外国のフォークダンスの踊り方と指導法を学ぶ。 【授業時間外学習】 配付された資料、教科書により学習した内容を理論的に復習しておく。(4.0hr)				第9回 創作ダンス・題材⑧ 作品の運びを学ぶ題材 【 到達目標 】 作品を作るための、運び方を学ぶ。 イメージと動きを引き出す効果的な太鼓のたたき方を実践的につかむ。 【授業時間外学習】 指導法実習で行う課題を教科書により検討する。(4.0hr)			
第2回 リズムのダンスによる導入・題材① 【 到達目標 】 授業の概要、ダンス教育の意義について理解する。 導入の単元より、現代的なリズムのダンスを学ぶ。 【授業時間外学習】 配付された資料、教科書により学習した内容を理論的に復習しておく。(4.0hr)				第10回 学んだ題材の復習を活かした作品作りと指導のポイント 【 到達目標 】 学んで来た題材の復習を行い、改めて指導のポイントをつかむ。 それらを連続させて作品にする体験をする。 指導法実習に向け、学習指導案の書き方について学ぶ。 【授業時間外学習】 指導DVDを視聴する。指導法実習で行う課題を教科書により検討する。(4.0hr)			
第3回 創作ダンス・題材② 【 到達目標 】 ダンスとの出逢いの授業。ものを使ってひと流れの動きの指導法を学ぶ。 ひと流れを意識させる示範を検討する。 【授業時間外学習】 配付された資料、教科書により学習した内容を理論的に復習しておく。(4.0hr)				第11回 グループ作品作りに対する指導方法を学ぶ。指導法実習の準備活動 【 到達目標 】 簡単なデッサンからグループ創作をするときの教師の指導法を学ぶ。 自分で選んだ題材の指導について、太鼓のたたき方や声のかけ方を検討する。 指導法実習のシミュレーションを行う。 【授業時間外学習】 指導法実習で行う課題について、自分の指導のシナリオを完成させる。(4.0hr)			
第4回 創作ダンス・題材③ 【 到達目標 】 対極の動きの連続を手がかりにした基本的な題材から指導法を学ぶ。 極限を引き出す示範の方法を検討する。 【授業時間外学習】 配付された資料、教科書により学習した内容を理論的に復習しておく。(4.0hr)				第12回 創作ダンスのクラス作品作り・題材④ 【 到達目標 】 絵画のイメージをきっかけとした作品作りを体験する。 グループ創作をクラス作品に構成する方法を学ぶ。 指導法実習で取り組むべき内容について学ぶ。 【授業時間外学習】 指導法実習の指導案を練習し、掲示物を作成する。(4.0hr)			
第5回 創作ダンス・題材④ 【 到達目標 】 群の動きを手がかりにした基本的な題材から指導法を学ぶ。 太鼓の使い方を実習する。 【授業時間外学習】 配付された資料、教科書により学習した内容を理論的に復習しておく。(4.0hr)				第13回 指導法実習① 【 到達目標 】 作成した指導案に基づいた指導法の実習を行う。 【授業時間外学習】 教科書を復習し、指導法実習を振り返っておく。(4.0hr)			
第6回 創作ダンス・題材⑤ 【 到達目標 】 身近な生活や日常動作を手がかりにした基本的な題材の指導法と、簡単な発表会の指導法を学ぶ。 【授業時間外学習】 配付された資料、教科書により学習した内容を理論的に復習しておく。(4.0hr)				第14回 指導法実習② 【 到達目標 】 作成した指導案に基づいた指導法の実習を行う。 【授業時間外学習】 教科書を復習し、指導法実習を振り返っておく。(4.0hr)			
第7回 作品の鑑賞と現代的なリズムのダンス・題材⑥ 【 到達目標 】 リズムを手がかりにして自由に自分のダンスを踊る題材の指導法と、簡単な踊り合いの指導法を学ぶ。 【授業時間外学習】 配付された資料、教科書により学習した内容を理論的に復習しておく。(4.0hr)				第15回 ダンス学習の評価のポイント 【 到達目標 】 これまでの学習を振り返り、ダンス授業の指導方法と評価のポイントを確認し、理解する。 【授業時間外学習】 これまでのノート、資料を整理し、教科書も用いて全体を復習しておく。(4.0hr)			
第8回 現代的なリズムのダンス・題材⑦ 発表会のバリエーション 【 到達目標 】 リズムを手がかりにして自由に自分のダンスを踊る題材の指導法と、簡単な踊り合い、見せ合いの指導法を学ぶ。現代的なリズムのダンスの単元作りについて学ぶ。 【授業時間外学習】 配付された資料、教科書により学習した内容を理論的に復習しておく。(4.0hr)							
【学習上の留意点】 ダンスは中学校では全領域必修となっている。保健体育教員免許取得希望者・教員志望者はぜひ受講してほしい。中学校でのダンス指導法を学びつつ、高等学校や小学校などでの指導や、社会体育、レクリエーションなどさまざまな場面での指導において、応用できるような力をつけてほしい。授業は実技が中心である。マイクロティーチング方式によるグループ学習を行い、相互評価によるフィードバックを行いながら、指導法を実践的に身につける。指導者としての心構えを持って受講すること。A4版のノートを使用するので持参すること。							
【教科書・参考書など】 教科書として「改訂版 明日からトライ！ダンスの授業」全国ダンス・表現運動授業研究会編（大修館書店）を使う。毎時間、授業内で使用する。							
【成績評価方法】 授業中の発言内容、活動内容10%、課題達成度・指導法実習等70%、知識理解(学習カード・レポート・授業ノートなど)20%の割合で評価する。							

科目名	ダンス・メソッド			担当者			
英文名	Dance Method						
単位数	2	科目区分・必修 ／選択の区別	スポーツ科学科	ダンス学科	健康スポーツ学科	子ども運動学科	
履修年次	3		科目ナンバー	HBE313		卒業認定方針との関連	⑥⑦
【到達目標】							
学校教育におけるダンス授業の指導法に焦点をあて、学齢期生徒の心身の発達に合わせたダンス授業の指導内容と方法について、実践を通じて理解する。具体的には、学習指導要領に基づいたダンス授業の基本的な単元計画のあり方や指導法、評価法について学習する。							
【ルーブリック（学修の到達レベル）】							
学修内容		理想的な到達レベル		標準的な到達レベル		未到達レベル	
学校体育ダンス授業の学習内容		学校体育ダンス授業の学習内容を十分理解している		学校体育ダンス授業の学習内容を理解している		学校体育ダンス授業の学習内容を理解できていない	
学校体育ダンス授業の指導方法・評価方法		学校体育ダンス授業の指導法・評価法を十分理解している		学校体育ダンス授業の指導法・評価法を理解している		学校体育ダンス授業の指導法・評価法を理解できていない	
学校体育ダンス授業の指導技術		学校体育ダンス授業の指導技術を十分習得している		学校体育ダンス授業の指導技術を習得している		学校体育ダンス授業の指導技術を習得できていない	
【授業内容・週ごとの到達目標・授業時間外学習】							
第1回 オリエンテーション、リズムのダンスによる導入・題材 【 到達目標 】 授業の概要、ダンス教育の歴史的展開と現状、意義について理解する。 導入の題材としてのリズム系ダンスを学ぶ。				第9回 現代的なリズムのダンス② 【 到達目標 】 リズムを手がかりにして自由に自分のダンスを踊る題材の指導法と簡単な踊り合い、見せ合いの指導法を学ぶ。			
【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、学習した内容について教科書を基に復習しておく。(4.0hr)				【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、学習した内容について教科書を基に復習しておく。(4.0hr)			
第2回 表現、創作課題① 【 到達目標 】 ものを使って即興的に踊りながら、ひと流れの動きを体験する創作ダンスへの導入方法を学ぶ。ひと流れを意識させる示範を検討する。				第10回 フォークダンス① 【 到達目標 】 代表的なフォークダンスの踊り方と指導法を学ぶ。 指導実習に向け、学習指導案の書き方について学ぶ。			
【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、学習した内容について教科書を基に復習しておく。(4.0hr)				【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、指導実習で行う課題を教科書により検討する。(4.0hr)			
第3回 表現、創作課題③ 【 到達目標 】 対極の動きの連続を手がかりにした基本的な課題から、指導法を学ぶ。 極限を引き出す示範の方法を検討する。				第11回 フォークダンス② 【 到達目標 】 代表的なフォークダンスの踊り方を体得し、指導法を学ぶ。 指導実習で取り組むべき内容について学ぶ。			
【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、学習した内容について教科書を基に復習しておく。(4.0hr)				【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、教科書を基に指導実習の準備を行う。(4.0hr)			
第4回 表現、創作課題④ 【 到達目標 】 対極の動きの連続を手がかりにした基本的な課題から、指導法を学ぶ。 極限を引き出す示範の方法を検討する。				第12回 指導実習に向けた準備活動 【 到達目標 】 指導実習に向けた準備および具体的な指導の練習、リズム太鼓の叩き方等を体得する。 指導実習のシミュレーションを行う。			
【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、学習した内容について教科書を基に復習しておく。(4.0hr)				【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、教科書を基に指導案の練習、掲示物の作成を行う。(4.0hr)			
第5回 表現、創作課題⑤ 【 到達目標 】 群・構成の基本的な課題からの創作、指導法を学ぶ。 群・構成の変化を引き出す方法を検討する。				第13回 指導実習① 【 到達目標 】 グループ毎の指導案に基づいた指導実践および他グループの指導を体験しながら、内容を検討できる。			
【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、学習した内容について教科書を基に復習しておく。(4.0hr)				【授業時間外学習】 指導実習内容を振り返り、教科書を基に要点を整理する。(4.0hr)			
第6回 表現、創作課題⑥ 【 到達目標 】 身近な生活や日常動作を手がかりにした基本的な題材からの創作、指導法を学ぶ。				第14回 指導実習② 【 到達目標 】 グループ毎の指導案に基づいた指導実践および他グループの指導を体験しながら、内容を検討できる。			
【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、学習した内容について教科書を基に復習しておく。(4.0hr)				【授業時間外学習】 指導実習内容を振り返り、教科書を基に要点を整理する。(4.0hr)			
第7回 表現、創作課題⑦ 【 到達目標 】 クラス作品、発表会に向けた創作、指導法を学ぶ。				第15回 指導と評価のポイント 【 到達目標 】 授業全体を振り返り、ダンス授業における指導方法と評価のポイントを確認、理解することができる。			
【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、学習した内容について教科書を基に復習しておく。(4.0hr)				【授業時間外学習】 授業全体を振り返り、教科書や資料を基に要点をまとめる。提出レポートを作成する。(4.0hr)			
第8回 現代的なリズムのダンス① 【 到達目標 】 リズムを手がかりにして自由に自分のダンスを踊る題材の指導法と簡単な踊り合いの指導法を学ぶ。							
【授業時間外学習】 授業の要点をまとめ、学習した内容について教科書を基に復習しておく。(4.0hr)							
【学習上の留意点】							
全授業を対面で行う。ダンスは中学校では全領域必修となっている。保健体育教員免許取得希望者・教員志望者はぜひ受講してほしい。中学校でのダンス指導法を学びつつ、高等学校や、小学校などでの指導や、社会体育、レクリエーションなど、さまざまな場面での指導において、応用できるような力をつけてほしい。授業は実技が中心である。指導者としての心構えを持って受講すること。毎時間、授業に対する振り返りを個人記録ノートに記入、提出し、次の授業にてフィードバックを行う。							
【教科書・参考書など】							
教科書として「明日からトライ！ダンスの授業」全国ダンス・表現運動授業研究会編（大修館書店）を使う。毎時間、授業内で使用する。 参考書：「ダンスの教育学」徳間書店、「女子体育」（公社）日本女子体育連盟発行							
【成績評価方法】							
毎回の授業における活動内容と指導実習を80%、授業内記録カード、提出レポートを20%の割合で評価する。							

科目名	舞台上演法			担当者		
英文名	Performance and Theater Workshop					
単位数	2	科目区分・必修 ／選択の区別	スポーツ科学科	ダンス学科	健康スポーツ学科	子ども運動学科
履修年次	4			専門・選択		
授業形態	演習	科目ナンバー	DME401		卒業認定方針との関連	⑥⑦⑧
【到達目標】 舞踊公演は長い歴史を持ち、民族・地域により多様性がある。しかしどのような舞踊であろうと観客を得た場合の上演ではそのための準備が必要である。この授業ではダンスの舞台上演までの作業を明らかにし、職業的知見を獲得することを目的とする。						
【ルーブリック（学修の到達レベル）】						
学修内容		理想的な到達レベル		標準的な到達レベル		未到達レベル
群舞作品の創作手順の理解度について		手順を理解し合理的に実践に導ける。		およそ手順通りに実践ができる。		作品創作の手順が理解できていない。
仲間とのコミュニケーション能力について		仲間の意見を取り入れながら進行できる。		およそ仲間の意見も聞きながら進行できる。		仲間との意見交換が行われていない。
装置、衣装、照明などの演出について		作品に最も適した演出を考案できる。		作品に適した演出に何とか到達できる。		作品に最も適した演出に到達できない。
【授業内容・週ごとの到達目標・授業時間外学習】						
第1回 オリエンテーション 【到達目標】 舞台上演法の授業の進め方について理解する。 【授業時間外学習】 授業の進め方をイメージし、身体と心の準備をして、自分なりの覚悟を持つ。(4.0hr)				第9回 作品づくり5 【到達目標】 実際に作品創作しながら、舞台上演に必要な事柄を学ぶ。創作のエッセンスや技法のアレンジのしかたについても学ぶ。 【授業時間外学習】 作品創作の復習。(4.0hr)		
第2回 制作について 【到達目標】 制作の仕事について理解する。 【授業時間外学習】 制作の仕事について、大切な事柄を復習する。(4.0hr)				第10回 作品づくり6 【到達目標】 実際に作品創作しながら、舞台上演に必要な事柄を学ぶ。創作のエッセンスや技法のアレンジのしかたについても学ぶ。 【授業時間外学習】 作品創作の復習。(4.0hr)		
第3回 照明シートの書き方 【到達目標】 照明プランの立て方、照明シートの書き方を理解し習得する。 【授業時間外学習】 照明プランの立て方、照明シートの書き方について、大切な事柄を復習する。(4.0hr)				第11回 中間発表 【到達目標】 作品を互いに発表し、それぞれが全公演の中の1作品であるという意識を高め、衣裳や内容に重複や不足がないかをチェックする。 【授業時間外学習】 総合芸術であることの認識を持ち、全体を振り返り課題を見つける。(4.0hr)		
第4回 作品づくり1 【到達目標】 実際に作品創作しながら、舞台上演に必要な事柄を学ぶ。創作のエッセンスや技法のアレンジのしかたについても学ぶ。 【授業時間外学習】 作品創作の復習。(4.0hr)				第12回 作品づくり7 【到達目標】 実際に作品創作しながら、舞台上演に必要な事柄を学ぶ。創作のエッセンスや技法のアレンジのしかたについても学ぶ。 【授業時間外学習】 作品創作の復習。(4.0hr)		
第5回 作品づくり2 【到達目標】 実際に作品創作しながら、舞台上演に必要な事柄を学ぶ。創作のエッセンスや技法のアレンジのしかたについても学ぶ。 【授業時間外学習】 作品創作の復習。(4.0hr)				第13回 公演準備1 【到達目標】 公演に必要な事柄を確認し、準備を行う。 【授業時間外学習】 制作面、上演面の両方を振り返り、最終チェックを行う。(4.0hr)		
第6回 作品づくり3 【到達目標】 実際に作品創作しながら、舞台上演に必要な事柄を学ぶ。創作のエッセンスや技法のアレンジのしかたについても学ぶ。 【授業時間外学習】 作品創作の復習。(4.0hr)				第14回 公演準備2 【到達目標】 公演に必要な事柄を確認し、準備を行う。 【授業時間外学習】 制作面、上演面の両方を振り返り、最終チェックを行う。(4.0hr)		
第7回 作品づくり4 【到達目標】 実際に作品創作しながら、舞台上演に必要な事柄を学ぶ。創作のエッセンスや技法のアレンジのしかたについても学ぶ。 【授業時間外学習】 作品創作の復習。(4.0hr)				第15回 発表、評価を得る。他のグループ作品の鑑賞 【到達目標】 互いに発表し、評価を得る。また、他のグループ作品も鑑賞する。 【授業時間外学習】 総合学習、まとめ。(4.0hr)		
第8回 有志作品選考 【到達目標】 有志作品の選考に全員が参加し、上演作品を客観的に見ることの大切さを会得する。 【授業時間外学習】 作品鑑賞を通して、自己の作品を振り返る。(4.0hr)						
【学習上の留意点】 4年間の学習の総まとめとして、実際の舞台上で公演する事を目的としています。毎時間参加が条件です。						
【教科書・参考書など】 特にありません。						
【成績評価方法】 レポート20%、授業における課題達成度60%、発表作品20%の割合で総合的に評価する。						